

宿泊を伴う行事での対応（例）

1 事前準備

- (1) 宿泊施設の食事（食材）の内容や提供可能なアレルギー対応食などを確認しておく。
- (2) 重篤な症状が出た場合を考えて、受診する医療機関を確認しておく。
また、受診に際して、必要な健康状況、治療状況などをまとめておき、治療に必要な情報提供（学校生活管理指導表含む）が確実に行えるようしておく。そのために、保護者を通して主治医との話し合いをもつ。
- (3) エピペン[®]の処方がある場合は、持参の有無、管理方法を保護者に確認し、緊急時に適切に使用できるよう、引率職員でシミュレーショントレーニングを行う。

2 考えられる対応例

- (1) 可能な範囲での除去食、代替食の提供
 - ・ 食事提供施設や飲食店等との事前の確認
 - ・ 旅行業者を通して対応や食品成分表での確認
 - ・ バイキングや自由行動での施設や食事内容の確認
(本人の発達段階に合わせて、必要時教職員が同行して確認)
- (2) 自宅から食材の持参
 - ・ 保冷パックでの持参（見学先などでの加温などの対応）
 - ・ 自宅で調理したものを冷凍し、食事する施設等に冷凍輸送。食事の際に施設で加温。
 - ・ レトルト食材、小分けの調味料を持参